

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日		校長名	所在地																						
専門学校 デジタルアーツ東京	平成2年11月30日		菅原 一博	〒177-0021 東京都豊島区西池袋2-38-8 (電話) 03-5992-5800																						
設置者名	設立認可年月日		代表者名	所在地																						
学校法人菅原学園	昭和35年3月25日		理事長 菅原 一博	〒989-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-11-10 (電話) 022-221-1111																						
分野	認定課程名		認定学科名	専門士	高度専門士																					
文化・教養	文化教養専門課程		イラスト・マンガ学科 マンガコース	平成29年文部科学省 告示第29号	—																					
学科の目的	発想法、コマ割り、演出、背景、仕上げ等の幅広い技術を習得することが目的であり、さらに職業教育を通じて、マンガ業界で活躍する人材を育成する。																									
認定年月日	平成 年 月 日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																				
2	年	2040時間	272時間	0時間	0時間	0時間 1,768時間																				
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数 総教員数																				
80人の内数		23人		1人の内数	4人の内数	8人の内数 12人の内数																				
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目50点以上・出席率75%以上 ABCD評価:C以上合格																					
長期休み	■学年始:4月1日～4月9日 ■夏 季:7月26日～8月25日 ■冬 季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級 条件	進級及び卒業には履修した全ての科目の評価がC評価以上であることが必要																					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・定期的な個人面談を実施 ・校内カウンセリングの活用			課外活動	■課外活動の種類 ・COMITIA(マンガイベント)への参加 ・課外デッサン実習 等 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に 関する平成29年5月1日時点の情報)																					
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 従来からの出版社編集者付きに加え、ネット社会でのデジタルマンガの普及によりフリーランスとして活躍の場が増えている。			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ・集英社クッキー・コミックチャレンジ奨励賞を受賞 ・Sakuran Project into Manga ! に作品掲載		資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
	資格・検定名	種	受験者数				合格者数																			
■就職指導内容 ・業界・企業研究(特別講義、業界セミナー等) ・出版編集部批評会 ・応募書類作成、模擬面接 ・ポートフォリオ作成																										
■卒業者数 9 人																										
■就職希望者数 1 人																										
■就職者数 1 人																										
■就職率 : 100 %																										
■卒業者に占める就職者の割合 : 11 %																										
■その他																										
(平成 28 年度卒業者に 関する 平成29年5月1日 時点の情報)																										
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 ■中途率 5 % 平成28年4月1日時点において、在学者 23名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者 22名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的事由、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制度・カウンセリング室設置・学生支援サポート等で指導する。																									
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・奨学金制度(年間:24万円支給) ・授業料等減免制度(◆クリエイティブ優遇:5万～20万円減免 ◆各種優遇(部活動、課外活動、皆勤、資格・検定、親族の内1つ選択):5万円減免 ◆卒園 児支援:10万円減免) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科の ホームページ URL	https://www.dat.ac.jp/course/illust/																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか「就職者数(関連分野)」は「学校基本調査」における「関連分野」に「就職」した者を記載します。また「その他」の欄は「関連分野」へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 本学園では、「専門教育」と「人間教育」の両立を目指し教育をするという「キャリアカレッジ」構想を昭和57年に設定されている。この方針に基づき、外部の企業等の方々から、専門技術において現場で必要とされている基礎技術から最新技術の助言を、また職場におけるビジネスマナーからモラルについてのご意見を頂き、学内で協議した上で本学のカリキュラムや授業方法を中心に適宜反映させ実践する。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 本校生が目指す業界は、ポップカルチャーと呼ばれる日本の新しい文化になる。この文化はここ10年の動向を見ると非常に早いサイクルで変化している。本校ではこの動向を的確に捉えるため、この教育課程編成委員の外部委員と定期的に学校側委員が意見交換を行うことにより業界が求める人材を輩出できるカリキュラムや授業方法を検証し、開発するための委員会として位置づけをしている。委員会での検証結果は、各学科長及び学科担当教員で協議し、改善項目を部長職教員へ報告する。部長職教員から校長、副校長へ報告を行い、意思決定に反映されるものである。また、教育課程編成委員会にも報告を行う。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成29年4月1日現在			
名 前	所 属	任期	種別
鎌田出	至誠館大学教授	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	②
和田裕介	株式会社サンステラフィギュアHP統括部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
大平隆幸	株式会社サンシャインコーポレーション 代表取締役社長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
東海林龍	株式会社レオバードスティール 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
山野辺一記	株式会社エッジワークス 代表取締役 脚本家	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
田島大樹	株式会社ジーンングル社長室次長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
生田光幸	専門学校デジタルアーツ東京 副校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
都築敏明	専門学校デジタルアーツ東京 教務部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
亀山悟	専門学校デジタルアーツ東京 学生部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
大賀秀範	専門学校デジタルアーツ東京 フィギュア造形学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
藤田正枝	専門学校デジタルアーツ東京 アニメ学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
青田美穂	専門学校デジタルアーツ東京 声優学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
高橋佑貴	専門学校デジタルアーツ東京 ノベルス・シナリオ学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
三井田大樹	専門学校デジタルアーツ東京 イラスト・マンガ学科(イラスト系) 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
込山小織	専門学校デジタルアーツ東京 イラスト・マンガ学科(マンガ系) 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年2回 7月・8月に開催 (開催日時) 第1回 平成29年7月26日 15:00～16:00 第2回 平成29年8月23日 15:00～16:00			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 今年度はフィギュア、アニメ、声優、ノベルス(シナリオ)にイラスト・マンガを加え、各業界の動向や求められる人材等が話題となった。中心となった話題には「専門的な技術力」は勿論のこと、「人間力」の必要性が上げられた。挨拶の重要性を重んじる声優分野と数人から数百人のチームの一員となりゲーム制作に携わるノベルス(シナリオ)分野からは、「社会人としての基本的スキル」の必要性が述べられた。イラスト・マンガ分野からは、年々狭く厳しくなるこの業界を生き抜く為の「精神面の強さ」や「コミュニケーション能力」の必要性が述べられた。この様な事から普段の授業にもチームでの作品制作を多く取り入れ、意見交換を中心とするコミュニケーション能力の向上をめざすこととした。また1年次から特別授業を設け、外部講師を招いての「自己分析」「業界対策」「就職活動の心構え」などのセミナーを行い、早期からの就職に対する意識付けを行うこととした。さらに昨年度より取り入れている職業教育・キャリア教育財団製作の『教科「職業とキャリア」』を引き続き活用し、担任指導による授業内での「人間力」の向上をめざすこととする。			

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針		
漫画業界だけでなく、幅広い分野に精通していること、またプレゼンテーション力等の指導を行える講師が派遣できる企業・業界団体等を選定している。		
(2)実習・演習等における企業等との連携内容		
学校側(学科長、授業科目の担当教員等)と企業等から派遣された講師が事前に打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の評価方法等について定める。学校側の授業科目の担当教員が年間授業を行いつつ、企業等の講師が、連携する実習時間に作品制作、プレゼンテーション力等の指導を行い、学校側と企業等の講師が連携しながら授業運営を行う。連携する実習時間終了後に企業等の講師が学修成果の評価を行い、その評価を踏まえ学校側が成績評価を行う。		
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
イラスト制作	漫画を幅広い分野で仕事ができるコンテンツであるという事の意識づけと、Webマンガ家、デジタルアシスタント、アドマンガ制作など社会でも通用するマンガ家になる実力を身に付けさせる。	株式会社アトムストーリー
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
イラスト・マンガ学科の教員は、教育研修規定に基づき教育責任者が定める研修計画により、イラスト・マンガ業界協力企業等に定期的に赴き、また、来校を請い、その企業等の業務に関する研修、現場の技術説明等を受ける。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等 イラスト・マンガ学科の教員が、専攻分野における実務の研修として、イラスト・マンガそれぞれの業界動向について説明を受け、イラスト制作の最新技術やデジタルマンガ制作の指導に対する最新の情報交換等を行う。期間、対象者、内容は以下のとおりである。 ・(株)集英社(Cookie編集部)における研修 [平成28年7月27日(水)14:30～16:00][対象者]込山小織・三井田大樹 [内容](講義形式)雑誌Cookieの特徴、作品傾向、業界動向の講義を行った。今後、校内で行う特別講義について情報交換を行った。 ・クラウドゲート(株)における研修 [平成28年8月17日(水)10:00～12:00][対象者]三井田大樹・込山小織 [内容](講義形式)会社、事業概要、業界動向の講義を行った。会社が実施している「イラスト学校」サービスについて情報交換を行った。 ・テクノアート(株)における研修 [平成28年8月18日(木)14:00～15:00][対象者]三井田大樹・込山小織 [内容](講義形式)イラスト業界が求めるクリエイターの講義を行った。事業紹介の説明を受け、情報交換を行った。 ・(株)小学館における研修 [平成28年9月7日(水)14:00～15:00][対象者]込山小織・三井田大樹 [内容](講義形式)雑誌月刊少年サンデーの特徴、作品傾向、業界動向の講義を行った。今後、校内で行う特別講義について情報交換を行った。		
②指導力の修得・向上のための研修等 教育研修規程に基づき、教育責任者が定める研修対象者の教員に対し、以下の研修等へ参加を指示し、指導力の修得・向上を図った。期間、対象者、内容は以下のとおりである。 ・人権教育研修 [平成28年11月29日(火)15:00～17:00][対象者]都築敏明 [内容](講義形式)いじめの問題に対する学校・教職員の法的義務及び適切な対処方法。人間関係の中でのコミュニケーション能力の重要性。 ・カリキュラム及び授業内容の改善について [平成29年1月16日(月)15:00～17:00][対象者]都築敏明 [内容](講義形式)カリキュラムマネジメントとアクティブ・ラーニングについて。 ・キャリア教育の視点を学ぶ [平成29年1月24日(火)14:00～16:00][対象者]鹿子芳雄 [内容](講義形式)キャリアカウンセリングの役割と定義・概念を元にライフキャリアについて考える。 ・コンピテンシー・ベースを超える授業づくり [平成29年1月24日(火)15:00～17:00][対象者]込山小織 [内容](講義形式)人格形成を見据えた能力育成を目指して ・就職指導者対象セミナー [平成29年3月7日(火)14:00～16:45][対象者]亀山悟 [内容](セミナー形式)就職動向及び学校のキャリアセンターに期待することについての講演。進路・就職支援システム等の事例発表。		
(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等 イラスト・マンガ学科の教員が、専攻分野における実務の研修として、イラスト・マンガそれぞれの業界動向について説明を受け、イラスト制作の最新技術やマンガ制作の指導に対する最新の情報交換等を行う。期間、対象者、内容は以下のとおりである。 ・(株)オリオンブックスにおける研修 [平成29年5月15日(月)11:00～12:00][対象者]三井田大樹・込山小織 [内容](講義形式)会社、事業概要、業界動向の講義を行った。デジタル出版の作品紹介を受け、情報交換を行った。 ・(株)MUGENUPにおける研修 [平成29年5月16日(火)13:30～15:00][対象者]三井田大樹・込山小織 [内容](講義形式)会社、事業概要、業界動向の講義を行った。会社のサイト内に設ける「いちあつ講座」の説明を受け、情報交換を行った。 ・コミックスアート(株)における研修 [平成29年6月7日(水)15:00～16:30][対象者]込山小織・三井田大樹 [内容](講義形式)WEBコミックマンガの特徴、作品傾向、業界動向の講義を行った。今後、校内で行う特別講義について情報交換を行った。 ・(株)モトヤにおける研修 [平成29年6月19日(月)13:00～15:00][対象者]三井田大樹・込山小織 [内容](講義形式)会社、事業概要、DTPオペレーションの講義を行った。人材派遣部の説明を受け、情報交換を行った。		
②指導力の修得・向上のための研修等 教育研修規程に基づき、教育責任者が定める研修対象者の教員に対し、以下の研修等へ参加を指示し、指導力の修得・向上を図った。期間、対象者、内容は以下のとおりである。 ・ココロの状態を把握した自己分析講座 [平成29年7月31日(月)10:00～12:30][対象者]青田美穂 [内容](講座形式)心の状態を分析するツールを活用し「自己」分析を行った。 ・発達障害・自閉症の理解、対応講座 [平成29年7月31日(月)14:00～16:00][対象者]青田美穂 [内容](講座形式)愛着障害、発達障害、自閉症スペクトラム症について。自己肯定感を高める動機付けについて。 ・キャリア・サポート養成講座 [平成29年8月7日(月)～8月9日(水)各日10:00～17:00][対象者]瀧幸太郎 [内容](講座形式)グループワークやカウンセリングのロールプレイング、ツールを使った自己確認等を行った。		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校で作成した自己点検・事項評価報告書内容の結果及び課題の改善に向けて学校側より項目毎に説明を行い、学校関係者評価委員のそれぞれの立場から専門的・客観的な観点から評価を受け、この評価に基づき意見交換を行うことにより、自己点検・自己評価の課題の改善をより良いものにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	◎人材育成・教育体制・業界交流
(2)学校運営	◎運営方針・事業計画・情報公開
(3)教育活動	◎人間教育・技術習得・人間形成
(4)学修成果	◎学力向上・就職率向上・退学率軽減
(5)学生支援	◎キャリアサポート・就職ガイダンス・担任制
(6)教育環境	◎設備充実・学校環境・少人数制
(7)学生の受入れ募集	◎学生募集・体験入学・学校説明会
(8)財務	◎適切な財務運営維持
(9)法令等の遵守	◎個人情報等の各種法令の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	未掲載
(11)国際交流	未掲載

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

上記9項目の評価について本学の担当部署に学校関係者委員会事務局より説明し、内容を精査して改善することにした。具体的には、学生が社会に出る時に必要とされるビジネスマナー(または人間力)は、我々が養成しているクリエイティブ系の人材でも技術力と共に重要であると再認識し、事例を踏まえて授業で更に指導徹底することとした。また、常に変化していく各業界の動向を把握し、学生指導に活用するために教職員向けのセミナー、外部研修への参加を強化し、教職員の質向上に努めることとした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
和田裕介	株式会社サンステラフィギュアHP統括部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
大平隆幸	株式会社サンシャインコーポレーション 代表取締役社長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
東海林龍	株式会社レオパードスタイル 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
山野辺一記	株式会社エッジワークス 代表取締役 脚本家	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
田島大樹	株式会社ジーアングル社長室次長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
大貫良祐	フリー原型師	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	
平山智邦	地元住民、地元企業である有限会社ツチキン 取締役	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

公表時期: 平成29年8月23日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の職業教育及び専門技術教育や学校の状況等を、学校関係者にホームページを活用し積極的に公表し専門学校として社会の理解を深め、これらの者と連携・協力関係を構築し、実践的職業教育機関としてより教育の質の確保・向上を図っていく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	◎設置者・所在地・連絡先・校長・沿革・目標・計画
(2)各学科等の教育	◎教科目標設定・進級卒業認定・授業時間・学期・学科別情報
(3)教職員	◎教員数・組織図
(4)キャリア教育・実践的職業教育	◎デビュー就職体制・職業実践教育・キャリア教育
(5)様々な教育活動・教育環境	◎キャンパスライフ・学生相談・メンタルケア
(6)学生の生活支援	◎学習生活指導・学生相談・メンタルケア
(7)学生納付金・修学支援	◎学費納付金・学費支援制度
(8)学校の財務	◎貸借対照表・消費収支計算書
(9)学校評価	◎自己評価・学校関係者評価
(10)国際連携の状況	未掲載
(11)その他	未掲載

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL: <http://www.dat.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程イラスト・マンガ学科マンガコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			実践学習	学園祭・イベント等クラス作品の制作及び学内コラボレーション・企業依頼案件・作品公募等の内容説明会その他のフォローを行います。また、持ち込みや投稿のアドバイスや就職活動に関わるマナー指導や一般教養対策を行います。	1 通 2 通	272	16	○			○		○		
○			デッサン	右脳トレーニングを取り入れ、柔軟な発想力を養う授業です。また、ポーズ・体格・年齢・など様々なシチュエーションでスケッチやデッサンを通して基礎画力を身につけます。	1 通 2 通	136	8			○	○	○	○		
○			制作実習Ⅰ	目指しているジャンルや雑誌にあわせて、講師とより近い環境でひとりひとりに合わせたプロット・ネーム・作画・発想アイデアトレーニングを行います。マンガ作品制作の全体を学びスケジュール感覚を養い、雑誌を意識した作品制作力をつけます。	1 通 2 通	408	24			○	○			○	
○			キャラクターデザイン	リアルな人間をマンガで描く時の目や鼻などの各パーツのデフォルメの手法や、喜怒哀楽のつけ方、また時代や場面設定に応じた人物を中心にキャラクターの描き方を実習します。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	
○			デジタル作画	Photoshopを使ってキャラクターやイラストの彩色を演習します。2年次ではComicstudioを使ってデジタルマンガの制作をします。	1 通 2 通	408	24			○	○			○	
○			コマ割り・演出	読みやすい視線誘導や、ストーリーに読者を引き込むため、コマ割・構成の演出の仕方を勉強して行きます。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	
○			背景・仕上げ	集中線やおどろ線などの動きや効果演出のマンガ独特の表現技法を演習します。パースや背景の基本、建物(内部・外観)小道具だけでなくファンタジーや時代などジャンルに合わせた背景の描き方も学び、アシスタントに必要なテクニックを学びます。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	
○			イラスト制作	水彩絵具、コピック、カラーインク、色鉛筆など様々な画材を使い、画用紙にアナログ作品の制作を行います。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	○
○			発想法	ストーリー作りやキャラクターの立て方やアイデアの出し方、エピソードの組み合わせなど、マンガの骨格を創る勉強や演習をしながら基礎をしっかり身につけていきます。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	
○			映像演出	映画・映像作品の鑑賞を通して、監督の演出技法やキャラクター設定、アングルやカット割りなどをマンガ作品に活かせるようにします。	1 通 2 通	136	8			○	○			○	
合計				10科目	2040単位時間(120単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業の認定は、各課程のカリキュラム表に定められた教科科目を履修し、所定の教科を取得し、かつ、卒業判定会議に諮り、校長がその学科の卒業を認定します。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。